

2026年度 事業計画

- 【基本方針】
1. 5研究会とATFコンファレンスに注力し内容の充実を図る
 2. 事業活動への招待を通じて若手研究者の育成を図る
 3. 財団の永続を目指し、収支±0を目標とする

- 【年度重点施策】
1. 創立40周年(“新世代研究所”活動開始1986年)記念としたATFコンファレンスを企画する
 2. 改正公益認定法に準拠した報告作成、及び新公益法人会計基準移行の準備を開始する
 3. 将来構想を構築する(役員等改選、第12期研究会、資産管理方針、事務局体制強化)

(1) 研究推進事業 (公1. 科学技術研究の推進事業)

- ① 5研究会 専門領域を超えた異分野研究の交流や融合により新しい研究コンセプトの創造を目指す
第11期(2024-2026年度)最終年度の活動を行う、各3回程度開催(内1回はATFコン内)

界面ナノ科学研究会	代表	千葉大地	東北大学 SRIS センター長・教授
高機能センサ研究会	代表	杉原加織	東京大学 生産技術研究所 准教授
ナノメカニクス研究会	代表	土方亘	東京科学大学 工学院機械系 准教授
バイオ単分子研究会	代表	渡邊力也	理化学研究所 主任研究員
量子物質研究会	代表	越野幹人	大阪大学 大学院理学研究科 教授

※若手研究者の招待をおこなう

- ②第4回 ATF コンファレンス 斯界で活躍する広範な研究者等が一堂に会し、分野を越えた新鮮な出会いと交流・議論を通じ相互に科学的刺激を交換する。また若手研究者など人的資源の育成・開発にも資する。

日時 : 11月8日(日)午後~10日(火)午前

場所 : 長野メトロポリタンホテル

企画 : ○善光寺訪問:初日午後

○招待者拡大:歴代財団関係者(前/元 役員・研究会代表)、若手研究者

③ 諸活動

1) ATFソサエティ研究交流会(第2回)

目的 : 研究会により作られた研究者コミュニティの継続、時間軸を含む幅広い交流

内容 : 講演、懇親交流会

時期 : 7月頃 (4月頃案内)

場所 : 東京駅周辺

対象者: 研究会員(現、前・元)、最大50名程度(申し込み順)

費用 : 会場・講演・懇親懇親会をATFで負担(交通費は自己負担)

2) 文部科学大臣表彰若手科学者賞の財団推薦 (10年間で9人受賞)

推薦応募 研究会代表等に推薦を依頼

審査・選考 担当理事

申請手続き 事務局

※意見交換会は今後単独開催とせずATFコンファレンス「鼎談」にて扱う

(2) 研究助成事業 (公2. 若手研究者の研究助成事業)

奨励賞

研究助成を受け優れた成果をだした研究の顕彰

授与 : 2026年4月1日 今回最後

授与式: 2026年11月8日 ATFコンファレンス(表彰式、副賞、受賞講演)

◎ 刊行物

パンフレット(7月) 2026年度版 150部

年度報告書(7月) 2025年度 財団活動報告(公開) 120部